

「 真実を語りなさい」

1. はじめに

- ・パウロはエペソ教会の人々に「新しい生き方」を示すために、この手紙を出したと思われる。
- ・原因は異端が入り込んだため、もう一つは3年間の長期にわたって滞在していたため、ある程度の信者がおり、それらの人々が更により高い知識、より充実した生活に進ませるためであった。
- ・神に喜ばれることとは何か

2. 本文

- ・パウロは個々の具体的な罪を上げて戒めていく。
- ・偽りを捨て、真実を語りなさい。(25節)

信仰がぶれずに、一貫性を持つためには重要な事と思います。

- ・マタイ 5 : 37に「はい」は「はい」。「いいえ」は「いいえ」とだけ言いなさい。それ以上のことは悪いことです。律法学者はこのことを偽善的に使った。神の名によらないものは守らなくても良いとした。パウロは「私たちはからだの一部として互いにそれぞれのものだからです。」、教会共同体というものを、いかに一体としてとらえていたかが分か
- ・30節 最後の日には行動とともに言葉も裁かれる。
- 5 : 5 特に「むさぼる者」を偶像礼拝者と特記する。
- ・新しい生き方として歩む (イエスに従う者として歩む)。
 - ・新しい人を身に着るべきこと (4 : 24)
- ・28節「盗みをしている者は、もう盗んではいけません。かえって、困っている人に施しをするために、自分の手をもって、正しい仕事をし、ほねおって働きなさい。」
- ・パウロ自身も職業をもっていましたから、こういった注意はところ、どころにあります。
- ・持ち物との関係 (マタイ : 山上の説教 6 : 24)
 - ・山上の説教には2つのポイントがある。私たちの新しい価値基準と私たちの持ち物との関係である。
 - ・「だれも、ふたりの主人に仕えることはできません。一方を憎んで、他方を愛したり、一方を重んじて他方を軽んじたりするからです。あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはできません。」
- ・時間の使い方。(スケジュール)
 - ・聖書は私たちが自分の欲望に従って時間を使うのではなく、聖霊(イエス)の導きに従って生活をする時に簡素な生活ができるようになると言っている。
 - ・16節「機会を十分に生かして用いなさい。悪い時代だからです。」

3. おわりに

- ・「ですから、あなたがたは偽りを捨て、おのおの隣人に対して真実を語りなさい。」
そうでないと、偶像礼拝者になってしまう。